

【全国のみなさま】

「いわき放射能市民測定室たらちね」からの非常に大切なお知らせを、代弁してお伝えさせていただきま
す。7月31日までの、やや急ぎのカンパお願いが来ていますので、ご協力をお願いします。 広瀬隆

「いわき放射能市民測定室たらちね」のホームページは、以下です。

<https://tarachineiwaki.org/>

たらちねは、放射能汚染に苦しめられる福島県民（特に子どもたち）の健康を守るために、地元の人たち
によって設立された放射能市民測定室ですので、みなさんもよくご存知と思います。

セシウムのガンマ線だけでなく、ストロンチウム90、トリチウムのベータ線も測定できるきわめて高度
な測定室です。食品だけでなく、水・海水・土壌・資材・人体の放射能測定をおこなっています。

福島原発事故現場の巨大な汚染水タンクの中身は、大半が問題のトリチウムです。これを海に放流しよう
と原子力規制委員会らの犯罪集団は、必死になっていますが、「たらちね」はそれを許しません。

今回の「7月31日までのお願い」は、子どもたちの健康状態を把握するのに欠かせない尿中セシウム測
定を自力でおこなうために、今年8月に、「ゲルマニウム半導体検出器」の購入を目指しているためです。

この測定器によって、0.02ベクレル／リットル という微量のセシウムまで測定できるようになりま
す。体内放射能は、そのレベルまで測定する必要があるからです。

1500万円の測定器購入のために、7月31日までにあと535万円の資金を必要としています。どう
か、1万円のご寄付で、測定器の購入をご支援ください。

上記、たらちねホームページから、「寄付をする」のページを開きますと、

【金融機関からのお振込み】方法が紹介されています。

ゆうちょ銀行 02240-5-126296
トクヒ)イワキホウシャノウシミンソクテイシツ

振込手数料が免除となる振込用紙をお送りします。

【振込用紙のご請求】

Tel : 0246-92-2526

Eメール : tarachine@bz04.plala.or.jp (件名は「寄付」をお願いします)

と、あります。

以上が、おおまかな代弁ですが、「たらちね」をご存知ない方も、この機会に是非知っていただきたいと
思いますので、お伝えしました。

われわれ市民運動では大金を持っている人はいないでしょうが、大金を持つ人がポンと500万円を寄付
するのではなく、多くの市民が1万円ずつ出資して、放射能測定を支えてゆく活動が、今こそ求められてい
ると思います。いえ、1000円でも、5000円でもいいと思います。放射能測定がどれほど重要である
かという意識を、このカンパを通じて共有するために、参加してください。

先日発刊された鹿砦社の「NO NUKES VOICE №20」2019年7月号を読んでみても、伊達信夫さんが福島第
一原発事故の正確な被害経過を改めてくわしく書いてくださり、感銘を受けました。事故8年後の今なすべ
きは、こうした地道な記録と、再検証の努力です。言葉足らずながら・・・

広瀬隆さんからのメールを、同氏の許諾を得て転載し公開しました。
NO MORE FUKUSHIMA 2011 <https://www.nomorefukushima2011.com/>